令和6年度 社会福祉法人あすなる会事業報告

事業報告にあたって (法人全体報告)

令和6年度は、例年同様、あすなる会3つの基本方針（・信頼される福祉サービスの提供・地域貢献・法人職員の幸せへの応援）を軸に、各施設の事業を運営致しました。年間を通して、様々な研修を実施することで職員の資質向上を図りました。四季を通して、伝統行事や季節柄の活動を推進すると共に、夏の暑い時期の暑さ対策、そして、冬の寒い時期における感染対策及び感染拡大防止を最大限に務めながら信頼される福祉サービスを提供致しました。また、人材確保困難のため、令和6年10月末日において居宅介護支援事業所をやむなく閉鎖することとなりました。

地域貢献活動については、フードドライブへの協力・残食残飯から作るリサイクルたい肥の配布活動・退職自衛官の積極的採用・廃材回収活動・海岸清掃・反射材着用の推進、利用料負担の軽減、地域の要支援者に対する相談支援、福祉教育・人材育成、地域の関係者とのネットワークづくり等地域に対して幅広い地域貢献活動を実施致しました。

法人職員の幸せへの応援については、働きやすさや休みやすさ等をこれまで同様に推進し、ヘルスマネジメント認定（あすなる第2保育園・5年連続）やスポーツエールカンパニー（法人・4年連続）も受賞致しました。これまでも様々な機関において、特に評価されている「・若者の採用に積極的・若者の育成に熱心・離職率が低い・残業時間が少ない・休暇を取りやすい・子育てがしやすい・育児休業や年次有給休暇の高い取得率等男女ともに若者への支援、子育て支援及び働き方改革・休み方改革に際し、独自性、先進性のある取組を積極的に実施。また、健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取組を実施。」等も推進してきました。今後、益々人材確保が困難になる時代を迎える中、働き方改革・休み方改革をこれまで以上に推進し、一人でも多くの福祉人材を確保し、育成・定着を心掛け、持続可能なあすなる会を目指すとともに、地域社会から愛され必要とされる法人を目指します。

さて、高齢者福祉を取り巻く状況については、令和6年度に介護報酬が改定されました。・地域包括ケアシステムの深化・推進、・自立支援・重度化防止に向けた対応、・良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり、・制度の安定性・持続可能性の確保に関する改定が主な4つの基本的視点です。また、身体拘束や虐待防止をはじめとした人権・権利擁護問題、人材確保、自然災害への迅速な対応を可能とするBCPの策定や改定、ICT化や業務改善をはじめとする生産性向上への動き、そして何よりも人口減少社会へ向かう様々な人的・物的環境への変化に対応していくことが求められます。

子どもを取り巻く状況について、国においては、多様化する保育ニーズへの対応・対策として、様々な新しい子育て支援施策が打ち出されており、保育所の認定基準の緩和や、「こども誰でも通園制度」などの話題について様々な機会で取り上げられています。これまでのように、日中フルで保育を必要とする子育て家庭だけを前提とした保育ではなく、短時間・低頻度の利用や、特別な支援を要する家庭など、今まで施設と接点の少なかった子どもや家庭への支援が打ち出されています。そして、少子高齢化の最中、保育の需給バランスが逆転(需要<供給)することを捉え、質の高い保育・教育の実施が求められます。また、きめ細やかな保護者支援、保育士等の人材確保・育成・定着、虐待防止をはじめとした人権・権利擁護問題、保育中における安全管理体制・衛生管理体制、BCPの策定・改定、ICT化等の業務省力化への取り組み等様々な対応が求められています。「子ども・保護者から選ばれる園」・「学生・求職者から選ばれる園」・「既存職員から選ばれる園」にな

るために、これまで培ってきたことを大切にしながら、時代の変化に対応すべく柔軟な思考と実践も求められます。

令和6年度事業報告にあたり、施設のご利用者及びご家族・保護者の皆様をはじめ、関係者、地域の皆様から温かいご支援、ご協力を賜りましたことを心から感謝申し上げます。

基本理念

地域に根ざす福祉・保育・教育の広場

～共に生き、共に育つ～

乳幼児から高齢者の方々、その人たちを取り巻く家族や地域社会の異なる世代の人々が、日々関わりを持ちながら、みんなで、～ふれあい、いたわり合い、支え合いながら、育ち合おう～を目標に既存の実践事業を充実させるとともに、新しい福祉の在り方を模索・創造し、実践していきます

基本方針

1. 多様な世代が集う場を創造し、一人ひとりに信頼される福祉サービスを提供します
児童福祉施設と高齢者福祉施設がほぼ同一敷地内にあり、それらの施設が一体的・統一的・合理的な事業展開を図り、複合体福祉施設としての有益性を十分活かし、一人ひとりに信頼される福祉サービスの提供に努めます。

2. 地域貢献を推進します

地域との積極的な交流を図り、多様な関係機関・組織、個人との連携・協働を通して地域貢献の推進に努めます。

3. 法人職員の幸福を応援します

「縁」あって共に働く法人職員は家族、友人と同じくらい人生において重要な出会いです。法人職員の幸福は法人の幸福と捉え、法人職員の幸福を応援します。

法人本部

(1) 実施事業

- 理事会の開催(6月3日、7月3日、9月25日、3月24日)
- 評議員会の開催(6月19日、10月10日)
- 行政監査の実施(10月25日、12月4日、1月14日、1月21日)
- 監事監査(5月31日)
- 資産登記(6月27日)

ケアハウスあすなる

(1) 基本方針

- 一. 人格の尊重
- 二. 和と寛容
- 三. 健康確保の努力及び機能維持の向上
- 四. 衛生の維持と清潔整頓
- 五. 地域社会への積極参加

(2) 実施事業

- 特定施設入居者生活介護及び介護予防特定施設入居者生活介護
特定施設サービス計画に基づき、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話、機能訓練及び療養上のお世話を行います。
- 日常生活支援
- 各種相談・助言
- 健康及び衛生管理
- 環境整備
- 食事（行事食等含む）の提供及び食生活の管理
- 世代間交流事業（保育園児とのふれあい活動）
- クラブ活動の実施
- 季節行事、伝統行事等各種行事の実施
- 地域行事への参加
- ボランティアの受け入れ
- 地域における公益的な取組み（地域貢献活動及びSDGs活動）

あすなる保育園

(1) 保育目標

「地域の中で共に生き共に育つ」

健康で意欲的な活動を通して豊かな人間性を持った子どもを育成する。

(2) 基本方針

「地域に根ざし、生涯を通して生きる力を養うことを基盤とした保育所保育」

- 1 ①地域に開かれた保育所づくり ②特色ある保育園づくりー複合施設としてのメリットを充分生かした保育の展開ー③子ども一人ひとりを大切にする保育園づくりを指標とし、高松地域の特色を本園の保育所経営に生かし、楽しさと活力に満ちた保育所保育の推進に努める。
- 2 子ども一人ひとりの人間性を大切にするを基盤とし、お互いの人格を尊重し合い、「基本的人権尊重」の精神の芽生えを育む。
- 3 地域の自然や文化、人々とのかかわりを通して、豊かな心を育てるとともに、特色ある保育の場をつくる。
- 4 家庭、地域社会との連携を密にし、相互に協力し、地域から信頼され存在感のある保育所保育の推進をはかる。

(3) 実施事業

- 乳児保育
- 延長保育
- 統合保育
- 一時預かり事業
- 休日保育
- 在宅育児支援（親と子のふれあい教室）
- 保育所退所児童交流事業
- 地域における異年齢交流事業
- 地域の子育て家庭への育児講座
- 子育て仕事両立支援事業
- 育児相談・電話相談
- 世代間交流事業（ケアハウス、デイサービスセンター、多機能型居宅介護施設利用者、地域の高齢者等との交流）
- 地域における公益的な取組み（地域貢献活動及び SDGs 活動）

あすなるデイサービスセンター

(1) 基本方針

- 利用者、介護者のニーズを的確にとらえ、個々の人格を尊重し、可能な限り健康的で文化的な生活を在宅でし、QOLを高めるための支援計画作成を行うと共に残存機能低下の防止抑制を行いながら、可能な限り改善強化するようなプラン、プログラムに基づいて支援する。
- 高齢者一人ひとりが、地域との関わりを保ちながら、地域社会の中で人間として尊重され、在宅生活が営めるよう積極的に高齢者福祉の施策と高齢者福祉に努める。
- 複合施設の利点を生かし、「ともに生きともに育つ」「共生」の理念にのっとったプランニング及び事業の展開をする。

(2) 実施事業

- 指定居宅介護支援事業の実施（ケアプラン作成）※令和6年10月末事業閉鎖
- 指定通所介護事業の実施（デイサービス）
- 指定訪問入浴介護事業の実施（訪問入浴事業）
- 通所介護事業延長サービスの実施
- 出雲市障害者訪問入浴事業の実施（市委託）
- 各種相談・訪問調査の実施
- 世代間交流事業（保育園とのふれあい活動）
- ボランティアの養成、受入
- 地域における公益的な取組み（地域貢献活動及び SDGs 活動）

あすなる第2保育園

(1) 保育目標

「地域の中で共に生き共に育つ」
健康で意欲的な活動を通して豊かな人間性を持った子どもを育成する。

(2) 基本方針

「地域に根ざし、生涯を通して生きる力を養うことを基盤とした保育所保育」

- 1 ①地域に開かれた保育所づくり ②特色ある保育園づくりー複合施設としてのメリットを充分生かした保育の展開ー③子ども一人ひとりを大切にする保育園づくりを指標とし、高松地域の特色を本園の保育所経営に生かし、楽しさと活力に満ちた保育所保育の推進に努める。
- 2 子ども一人ひとりの人間性を大切にするを基盤とし、お互いの人格を尊重し合い、「基本的人権尊重」の精神の芽生えを育む。
- 3 地域の自然や文化、人々とのかかわりを通して、豊かな心を育てるとともに、特色ある保育の場をつくる。
- 4 家庭、地域社会との連携を密にし、相互に協力し、地域から信頼され存在感のある保育所保育の推進をはかる。

(3) 実施事業

- 乳児保育
- 延長保育
- 統合保育
- 一時預かり事業
- 休日保育
- 病児保育事業（病後児保育）
- 在宅育児支援（親と子のふれあい教室）
- 保育所退所児童交流事業
- 地域における異年齢交流事業
- 地域の子育て家庭への育児講座
- 子育て仕事両立支援事業
- 育児相談・電話相談
- 世代間交流事業（ケアハウス、デイサービスセンター、多機能型居宅介護施設利用者、地域の高齢者等との交流）
- 地域における公益的な取組み（地域貢献活動及び SDGs 活動）

あすなる多機能型居宅介護施設

(1) 基本方針

(ア)要介護者について、その居宅において、又はサービスの拠点に通わせ、若しくは短期間宿泊させ、当該拠点において、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者がその有する能力に応じその居宅において自立した日常生活を営むことができるようにすることを目的とする。

(イ)利用者が住み慣れた地域での生活を継続することができるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえて、妥当適切にサービスを提供する。

(2) 実施事業

- 登録者の居宅サービス計画の作成
- 社会生活上の便宜の提供
- 通いサービスの実施
- 短期宿泊サービスの実施
- 訪問サービスの実施
- 地域に密着したサービスの実施
- 世代間交流事業の実施（保育園とのふれあい活動）
- 地域における公益的な取組み（地域貢献活動及び SDGs 活動）

あすなる児童クラブ

（１）基本方針

小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものにつき、家庭、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、当該児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図り、もって当該児童の健全な育成を図ることを目的として放課後児童健全育成事業における支援を行うものとする。

（２）実施事業

- 放課後児童の健全な育成
（児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等）
- 地域社会との交流及び連携
- 地域における異年齢交流事業
- 世代間交流事業（あすなる保育園、あすなる第２保育園、ケアハウス、デイサービスセンター、多機能型居宅介護施設利用者、地域の高齢者等との交流）
- 地域における公益的な取組み（地域貢献活動及び SDGs 活動）

地域における公益的な取組み

- ・ 当法人職員の外部研修講師派遣
- ・ 障がい者・高齢者の就業機会の確保
- ・ 低所得者に対する介護保険サービスの利用者負担減免
- ・ 児童虐待防止ネットワークへの参画
- ・ 要保護児童対策地域協議会への参画
- ・ 在宅親子支援「ふれあい教室（あすなる保育園）」・「にこにこひろば（あすなる第２保育園）」の開催
- ・ 園庭開放・近隣地域の子育て家庭を対象にした育児相談
- ・ 中学校・高校の体験学習、短大・専門学校等からの実習生、社会見学の受け入れによる福祉人材の育成
- ・ AED の設置（地域の方も利用可能）
- ・ 職員の救命講習受講の促進
- ・ 地域住民と連携した防災体制の構築
- ・ 町内第１避難場所
- ・ 生ごみ処理機設備によるたい肥配布「地域を笑顔にするお花咲く咲く運動及び野菜いきいき運動（リサイクル活動）」